

## 新城市民病院研修を終えて

豊橋市民病院 研修医

新城市民病院での1ヶ月間の地域医療研修では、総合診療科として、初診外来や救急外来対応、転院搬送、訪問診療等さまざまな経験をさせていただきました。初診外来では、普段の救急外来の診察とは異なり、疾患の緊急性を否定するだけでなく、深く考察し、時には論文検索をし、患者にとっての最善の医療を常に模索している姿は特に感化されました。時には、医学的には正しいことも、その患者にとっては正しくないということもあるということも学べたのは貴重な経験でした。指導医のその場でのフィードバックに加え、夕方のカンファレンスでのフィードバックもあり、1人の症例から多くのことを学ぶことができました。常に鑑別疾患を想定しながら身体診察をし、いかに検査前確率をあげ、検査ひとつひとつの意味を考えながら診療をするスタイルは、なかなか難しいですが、これから小児科医になるにあたって身につけていきたいスキルだと感じました。医療資源はより多い病院は他にも存在しますが、患者にとって最善の医療をするにあたって必ずしも、医療資源が多いことが必須ではないということがわかった気がします。看護師、薬剤師、作業療法士、理学療法士、検査技師、MSW等さまざまな職種が密接に連携する姿をみて、自分もこれからその状態を作れるようになれたらと思いました。

昨今、COVID19 が流行していますが、科の垣根を超えてさまざまな診療科が COVID19 診療に携わり、常に最新の情報を収集し共有している姿にも、この地域の医療を支えているという自負を感じました。普段の豊橋市民病院の研修よりも COVID19 に関わる医療、社会的情勢や、実際の治療に携わることができたと思います。

毎朝の勉強会、EBM 勉強会、up to date 勉強会、症例検討会では何年医療に携わっても自己研鑽を忘れない姿に感動しました。それ自体が勉強になっただけでなく、どのような勉強か効果的で正しく、患者に当てはめることができるのかも学ぶことができたように思います。

指導医の先生には、毎日、その日の外来と病棟患者のフィードバックを丁寧にしてくださり、非常に得るものが大きかったです。今回の研修で学んだことを、少しでもこれからの医師人生に活用できるよう励んでいこうと思います。短い期間でご迷惑をおかけした点多々あったと思いますが、大変ありがとうございました。